

## 令和6年度 学童保育室自己評価結果を受けた今後の改善点

### 【I.6 事業内容向上への取組】

(課題)

- ・各学童保育室からフルタイム支援員が保育、仕事、研修の3部会に分かれて様々な検討、情報交換を行い、都度必要な研修を実施しているが、経験段階に応じた研修は実施できていない。
- ・自己評価の結果を改善につなげるための手法について研修が行われていない。

(令和7年度改善の方向性)

研修内容について再検討し、直営・民営ともに効果的な研修を実施する。また、「入間市立学童保育室育成支援指針」に関する理解を深め、その一環である自己評価から改善へのサイクルを身に着けるための研修等を実施する。

### 【II.6 学校との連携】

(課題)

- ・一部、学校との連携体制が十分に整っていない学童保育室がある。

(令和7年度改善の方向性)

市立学童保育室のほとんどが学校施設内、敷地内、もしくは学校に隣接している立地となっている。子どもの安全・安心やより良い環境での育成支援実現のためには、学校との密な連携は重要である。これまでの全学校の連携状況を確認し、学校ごとの最適な連携のあり方について検討し、必要に応じて改善を図っていく。

### 【II.8 地域、関係機関との連携】

(課題)

- ・消防や警察等の必要な関係機関との連携は取れているものの、各地域の組織については、地域性により関わりに差がある。

(令和7年度改善の方向性)

各地区での放課後子ども教室等における連携を参考に、子どもの健全な育成につながるような連携の実現について研究を進める。